

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

# 会報 *KSTNET*

第29号 2007年4月25日発行



発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)  
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27  
熊本託麻台病院(事務局)  
TEL 096-381-5111(内線228)  
FAX 096-381-5115  
E-mail:takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111  
メディカル・カレッジ香照館  
TEL 0964-54-2211  
FAX 0964-54-2213  
E-mail:yamaguchi@seishoukan.ac.jp

責任者：山口 信

## 会長からのメッセージ



熊本県言語聴覚士会 会長 小園真知子

会員一人ひとりの力を・・・

確実に季節はうらかな春となっていますが、職場では新年度と診療報酬改定の混乱のうちに、日々が過ぎているのではないのでしょうか。

平成19年度で、熊本県言語聴覚士会が誕生して8年目になり、現在の会員数は、200名に達するかというところです。本年度は、役員改選の年です。現役員のお多くは、会の発足当初より何らかの役割を果たしております。本来ならば、世代交代をしながら、多くの方が会の運営にかかわるべきですが、今回も役員のお立候補はありませんでした。まだまだ、歴史が浅く運営の基盤が固まっていない中で、「言語聴覚士の資質向上」と「言語障害を持つ方々の幸せ」のためには当会の活動を維持し、さらに発展させていく必要があります。このようなことを受けて、先日の理事会で、基本的には現体制の継続で合意が得られました。今後の会の活性化のためには、できるだけ若い会員から理事を募り、現場の声を運営に生かしていただきたいと願っています。

私は2期4年にわたり会長の役割を務めており、総会で承認されれば3期目になります。会長には会をまとめ、社会にアピールする責任はありますが、何の権限もありません。会の主役は、会員一人ひとりです。皆さんの会費は、研修会の開催、ブロック会の活動、言語聴覚士の啓発活動に使われます。言語聴覚士の必要性が社会に認められ、言語

聴覚療法の必要な人がいつでもどこでも相談・訓練を受けられるようにするためには、私達が結束して力をつけていくしかありません。

一人職場で悩んでいる人、経験が浅いのに新人を指導する立場で苦慮している人、経験年数はあるが自分の臨床にまだ自信が持てない人、学会発表したいけど指導者のいない人・・・、一人で悩まないで、ブロック長、理事など県士会の先輩に相談してください。

本年度より、県内でも日本言語聴覚士協会の生涯学習の基礎講座を開催します。日本言語聴覚士協会の入会がまだの方は、早急に手続きを行ってください。

6月23日(土曜日)の県士会総会では、日本言語聴覚士会副会長長谷川賢一先生をお招きし、診療報酬制度についてのご講演をお願いする予定です。長谷川先生は、6月2、3日に行われる第8回日本言語聴覚学会の学会長でもあり、言語聴覚士に関する最新の情報についてもいろいろとお話を伺えると思います。ぜひ、多くのご参加をお待ちしています。



## 第2回学術研修会報告



第二回熊本県言語聴覚士会学術研修会に参加して  
 医療法人博光会 御幸病院  
 リハビリテーション室 ST  
 林 亜星

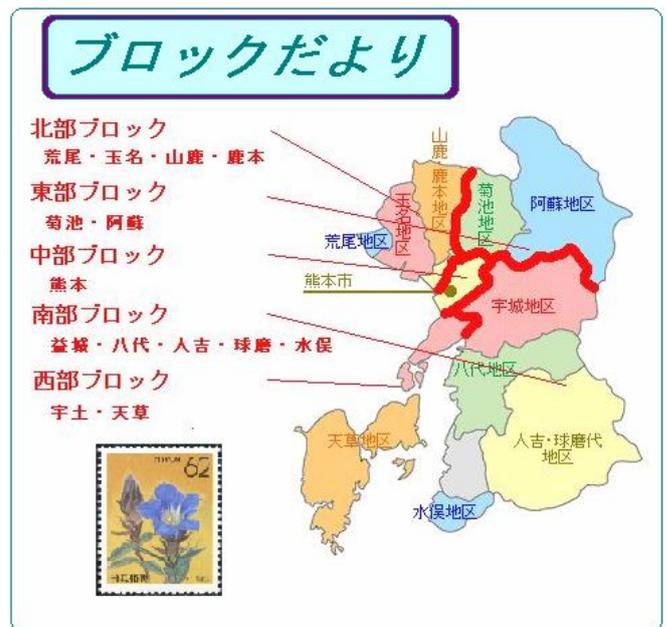
去る2月18日(日)、熊本産業文化会館にて第二回熊本県言語聴覚士会学術研修会が開催されました。当日は少し肌寒さを感じる陽気でしたが、県内各地から多くの先生方が参加され、中にはPT・OTの先生もおられたようです。

県士会会長の小菌先生による開会挨拶に始まり、第一部は広島大学大学院保健学研究科教授の宮口秀樹先生による特別講演が行われました。「身体を使って思考するー認知運動療法の基本概念と臨床」と題されたタイトル通り、認知運動療法の基本的な考え方についての説明や、実症例の訓練風景の映像なども見る事が出来ました。それまで私は「認知運動療法」という言葉をほとんど聞いた事はありませんでしたが、宮口先生の講演の中で「STの対象疾患にも認知運動療法は十分に有用である」という旨の発言があり、それを聞き自分の認識不足を痛感すると共に、私自身も構音障害や高次脳機能障害に対するアプローチとして認知運動療法を実践したいと思いました。また、そのために必要な知識の向上も併せて行っていかなければいけないと感じました。時間の都合上質疑応答がなく、結局質問できずに終わってしまいましたが、とても有意義な講演を聴く事が出来ました。

休憩を挟んでの第二部は一般口演が行われ、病院・介護老人保健施設・養成校の先生方からそれぞれ非常に興味深い口演が発表されました。中でも、竜山内科リハビリテーション病院の中村知香先生が発表された「当院における経口摂取移行への取り組み」の発表内容は、当院の抱える問題点によく似て

おり、当院での今後の摂食機能療法の体系作りにおいてとても参考になりました。また、メディカルカレッジ青照館の山口先生が発表された「ST養成過程における現代史教育の必要性」では、近代の時事等について実際に学生にクイズ形式のアンケートを行った結果が一部公表され、そのあまりの珍回答ぶりに、会場からは笑いと共に「これでは実習生に高齢者とのフリートークを任せられない。是非学校で近代史教育をして欲しい」という実習施設側からの切実な声も聞かれていました。

県内各地からたくさんの先生方が参加された本研修会は、ST同士の横のつながりを深めるという意味合いにおいても非常に役立ったのではないのでしょうか。今後、機会がある毎に出来るだけ多くの勉強会に参加し、自分の知識・技術を深めていきたいと思えます。

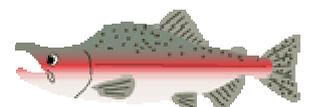


### [北部ブロック報告]

北部ブロックだより

北部ブロックは5月に「憂い」をテーマに、新人、中堅、ベテラン?の3つの世代から、臨床場面での様々な悩みについての報告会を予定しています。ブロックに関係なく多数御参加よろしくお願いたします。

菊南病院 大塚裕一



### [東部ブロック報告]

東部ブロックだより

3月22日(木)に熊本ひばり園の先生方の企画で特別講演を開催しました。

熊本大学医学部付属病院耳鼻咽喉科の鮫島先生から、聴覚の基礎、聴力障害、補聴器・人工内耳の適応、音声障害について等、幅広くお話をして頂きました。

今年度も定期的に勉強会を企画していきます。皆さん、奮ってご参加ください!

熊本リハビリテーション病院 山本由佳



### [中部ブロック報告]

中部ブロックだより

桜も散り、穏やかな気候になってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか?

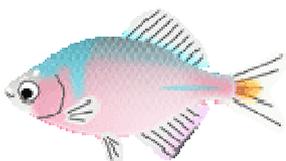
今年度も中部ブロックはブロック長:前田(熊本赤十字病院)、副ブロック長:下田(発達相談室)で変わらずに参りますので宜しく御願いたします!!!

中部ブロックは1月19日に新年会を兼ねて、昨年の活動報告・反省、今年の活動予定を話し合いました。今年度も昨年同様、2ヶ月に1回の頻度で各施設持ち回りによる勉強会を開催したいと思います。

今年度初は5月18日に熊本託麻台病院にて、定例勉強会を開催する予定です。

新人さんの紹介なども兼ねて、皆様ふるってご参加ください!!

熊本赤十字病院 前田紗知



### [南部ブロック報告]

【南部ブロック活動報告】

吹く風も爽やかな好季節となりましたが皆様お変わりございませんか。

さて、南部ブロックでは平成19年2月24日(土)に国保水俣総合医療センターのリハビリ館において同センターのST福田純子先生、大岩由佳先生による

勉強会が開催されました。内容は下記の通りです。終了後は20名弱が参加し、懇親会をおこない盛り上がりました。次回は6月9日(土)ヘルシープラザ十六のST濱華織莉先生の担当で勉強会を開催予定です。ブロック外の方の参加も大歓迎です。多くの方々の参加をお待ちいたしております。

記

1. 施設見学

2. 症例検討

① アテローム血栓性脳梗塞による重度失語症・嚥下障害を合併した1症例

② 成人脳性まひ患者に対して AAC アプローチを行った1例

3. 意見交換など

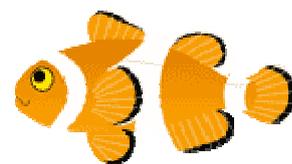
【(新)南部ブロック長の紹介】

平成19年度より、にしくまもと病院の中村舞先生がブロック長に決まりました。

一言:今回南部ブロック長をさせて頂くことになりました、にしくまもと病院の中村です。ブロックでの活動が円滑にいくよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

以上、南部ブロックより活動報告並びに(新)南部ブロック長の紹介でした。

熊本労災病院 ST 折口直美



### [西部ブロック報告]

西部ブロックでは3月23日に平成19年度第6回研究会を行いました。演者ははまゆう療育園の福島幸先生、演題は「当園における AAC の取り組み」でした。AACの方法だけでなく、AACを導入することで対象者の意識がどう変化していくか、また、AACの継続に不可欠な対象者や周囲の意欲をどう維持していくかなど、有意義な話が聞けました。

西部ブロックでは来年度からブロック長が交代し、楽洋の里の池田聖司先生になる予定です。副ブロック長は変わらずはまゆう療育園の斉藤先生です。今後ともよろしくお願いたします。

メディカルカレッジ青照館 山口 信

## 『くまもとST・こどもサポートNET』

くまもとST・こどもサポートNETでは、こどもと保護者が住み良い地域社会を目指し、関係職種・団体と協働にてこどもの発達支援・子育て支援の啓発とサービス普及の推進を図ることを目的として、活動しております。今年で、活動を始動して4年目を迎え、徐々に病院での小児言語聴覚療法の普及が進む中、さらに、小児STについて学びたいと思われる先生方も多いと感じております。『くまもとST・こどもサポートNET』では、『熊本小児言語・聴覚連絡会』と連携しながら、言語聴覚士または他職種間の相互の親睦・情報交換・学習会を通して、言語聴覚士の小児言語聴覚療法の資質向上を図るよう努めていこうと考えております。

今年度は、活動を下記のようにを計画いたしました。小児言語聴覚療法は行っていないけれども、関心のある方や勉強してみたいという方々など、皆様お誘い合わせのうえご参加ください。お待ちしております。

本市こどもの発達相談室 下田祐輝

### 平成19年度活動計画

開催日	内容	講師・発表者	会場
5/26	『小児言語聴覚療法の手引き』について	熊本機能病院 小藺真知子先生 熊本市こどもの発達相談室 下田祐輝	江南病院
7/14	小児開設3年目の報告(仮題)	宇賀岳病院 田中聡子先生 平ノ上隆康先生	江南病院
8/18	小児言語・聴覚連絡会合同勉強会 テーマ:症例を通しての学習会(予定)	検討中	江南病院
9/22	『はじめませんか!小児のST!!』(仮題)	熊本セントラル病院 重川由香先生	江南病院
11/17	発達障害の理解と対応について(仮題)	益城病院 田中恭子先生	江南病院

1/26	プレススピーチからのことばの発達について(仮題)	熊本市こどもの発達相談室 下田祐輝	江南病院
3/15	茶話会・ミーティング (H19年度活動見直し・H20年度活動計画)		江南病院



平成19年度 熊本県言語聴覚士会 第1回理事会議事録

日時: 2007年4月6日 19:00~ 場所: 熊本託麻台病院

出席者: 小藺、丸内、三浦、中村、山口、折口、宮本、兼田、下田、花生、前田

書記: 前田

#### 1. 報告事項

##### \* 対外会議報告

- 1月15日 医専連理事会
- 1月25日 各圏域地域リハ広域支援センター会議・研修会
- 1月29日 第11回高次脳機能検討委員会
- 2月6日 医保福第1回理事会
- 3月8日 県地域リハ推進協議会
- 3月26日 熊本県地域リハ支援体制推進シンポジウム

##### \* 19年度 予定

- 4月15日 熊本県介護福祉士会総会特別講演
- 4月23日 第12回高次脳機能検討委員会

##### \* 各ブロック報告

東: 2/16 熊本リハビリテーション病院にて勉強会開催。熊本セントラル病院、熊本リハビリテーション病院のSTより症例発表して

もらった。

西：3 月に第 6 回研究会を開催。はまゆう学園より発表。19 年度よりブロック長、池田先生（楽洋の里）へ変更。

南：19 年 5 月に勉強会開催予定。19 年度よりブロック長、中村先生（にしくまもと病院）へ変更。

北：1 月終わりに新年会開催。

中部：1/19 新年会開催。19 年度は 5 月に第 1 回目の勉強会を開催予定。

2. 検討事項

\*平成 18 年度会計報告・平成 19 年度予算案検討

- ・18 年度年会費、2 名未納。
- ・小児の連絡会通信をメールにしては？⇒4/21 の定例会で話し合う。
- ・有料ホームページ代を予算案に追加必要。
- ・こどもサポート NET で『小児言語療法のでびき』を会員に配布したい（A4 15 頁 200 部）。予算に入れてもらえるか？ ⇒ 企画書・見積りを提出後検討。

\*事業部報告

- ・19 年度より橋本先生（菊南病院）を追加。
- ・日本言語聴覚士会にて 9 月 1 日を“言語聴覚の日”と設定。各県でも ST の啓発活動の依頼あり。

事業部の案：学術部と協力して、一般に向けた講演会(市民公開講座)を開催できないか。

⇒ 開催については了承。

熊本市で行うか、県内各地へ分けて行うか。

ターゲットをどこに絞るか。啓発対象は誰か。

講師・会場費について検討。

各ブロック or 県全体で行うのか等。

⇒ ブロックごとに、会場費のかからない方法で開催可能か検討。

⇒ 各ブロックの意見を聞いたうえで企画案提出。

・ST 啓発 DVD の作成について

現場を撮影し、配布したい。

仕事内容の説明は小菌先生に。

- ・事業部へ予算を追加（3 万円）

\*平成 19 年度 役員改選 選挙管理委員会報告

- ・立候補者なし。理事会にて推薦

丸内	黒川	柴田	小菌	中村
重川	山口	折口	三浦	下田
久池井		兼田	宮本	花生
阿蘇地区から		森田	横山	前田
		鋤田	陣内	

赤→新規 青→ブロック移動

(その他変更内容)

南部ブロック長 → 中村（にしくまもと病院）

西部ブロック長 → 池田（楽洋の里）

保険部長 → 鋤田（回生会病院）

学術部長 → 下田（発達相談室）

⇒推薦された方に連絡をとって調整。総会で承認をはかる。

\*総会について

開催日：平成 19 年 6 月 23 日 場所：交通センターホテル

研修会内容：保険部アンケートの解説・質問受付（折口・鋤田）

特別講演：長谷川先生（日本言語聴覚士会副会長）

or 深浦先生（日本言語聴覚士会会長）

全国での診療報酬改正後の影響を講演してもらう。

- ・こどもサポート NET より報告

- ・新人には県士会・日本 ST 会への入会をブロック長より促す。

\*失語症のつどい

開催日：平成 19 年 5 月 20 日

会場：熊本県立大学 11：00～13：00（9：30～準備）

今年から会場費がかかる（4 時間分借りてある）。

- ・展示・販売を業者に斡旋しては？ ⇒ 承認

\*学術研修部報告（別紙参照）

平成 19 年 12 月 2 日に学術研究発表会を産業文化会館にて開催予定。

\*くまもと ST・こどもサポート NET 報告（別紙参照）

\*平成 19 年度活動報告

- ・シティ FM 8/8…成人（山口先生）

2/27…小児

（丸内先生が窓口で調整）

次回開催日：平成 19 年 7 月 6 日（金）19：00～

場所：熊本託麻台病院

東	西	南	北	中央
---	---	---	---	----



### 第19回活動分析研究大会

[期日]2007年5月19日(土) 9:40-17:30  
5月20日(日) 9:00-14:00  
[場所]アイメッセ山梨(山梨県甲府市大津町2192-8)  
詳細は <http://www.katsubun.com>



### 第8回熊本「失語症のつどい」

[主催]熊本県失語症友の会連合会  
[共催]熊本県言語聴覚士会  
[日時]平成19年5月20日(日) 午前11時～午後1時  
[場所]熊本県立大学 大講義室  
熊本市月出 3-1-100 TEL 096-383-2929(代)  
駐車場あり(500台駐車可能)  
[対象者]熊本県の住民、失語症者及び家族、医療・保健・福祉関係者など約300人  
[プログラム]①スライドショー:たくま会・失語症のつどいプレビュー  
②ライブショー:腹話術ライブ  
③エクササイズ:口腔機能向上セラピー、失語セラピー  
[連絡先]第8回熊本失語症のつどい事務局  
医療法人堀尾会熊本託麻台病院言語聴覚療法科  
〒862-0913 熊本市尾ノ上 1-14-27  
TEL096-381-5111 Fax096-381-5115



### 言語聴覚士学生交流集会

[目的]各校における学修内容や学生生活などについての紹介と意見交換を通して、学生間の交流を深めるとともに学修意識・意欲の向上につなげる。また、同じ職業を目指す者同士の連携を促進する。  
[会場]アクトシティ浜松 学生交流集会展示ブース  
[日時]2007年6月2日(土) 14:30-16:00(総会の時間帯にあわせて行います)  
[方法]ポスター展示と発表(パネル 90×210センチ1枚)  
各養成校発表5分、意見交換3分。残り時間は交流  
※なお参加校は地下1階市民通路にパネルによる学校紹介等の展示ができます(無料)。  
[参加費]学会参加費(学生)(会員の交流会にも参加可)  
[参加申込]葉書にて  
[締切]2007年2月末日  
[問合せ] [jas8th@seirei.ac.jp](mailto:jas8th@seirei.ac.jp)



### 平成19年度失語症者学習交流会浜松大会

[期日]平成19年6月11日  
[会場]アクトシティホテル浜松  
[参加者]全国失語症者、家族、言語聴覚士、専門学校生、ボランティア他  
[問合せ先]特定非営利活動法人全国失語症友の会連合会  
〒162-0067 東京都新宿区富久町2-29 ハイム富田103号  
TEL 03-3357-9493  
Fax03-3357-4456

### 編集後記

めまぐるしく変わる診療報酬、たった1年臨床から離れただけで解釈に迷う部分が多々あります。皆様のご苦勞がしのべれます。(信)

[yamaguch@seishoukan.ac.jp](mailto:yamaguch@seishoukan.ac.jp)